

# 平成22年度 研究指定校実践事例 向小学校

## 1 研究主題

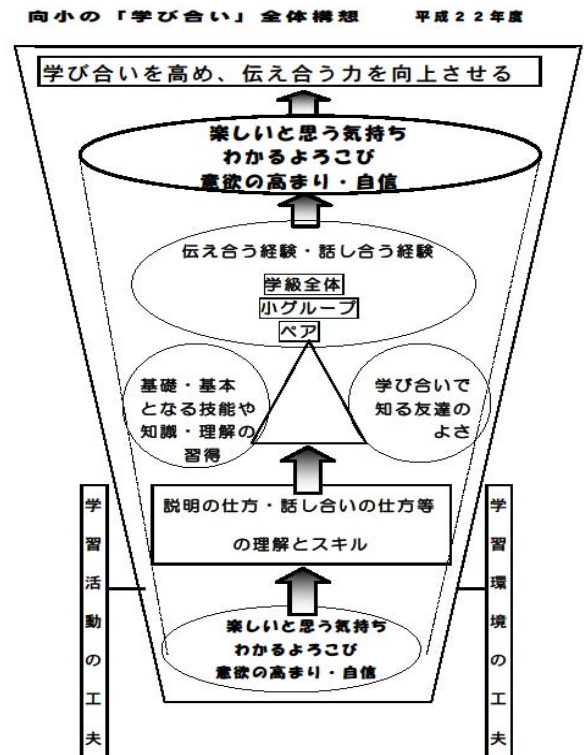
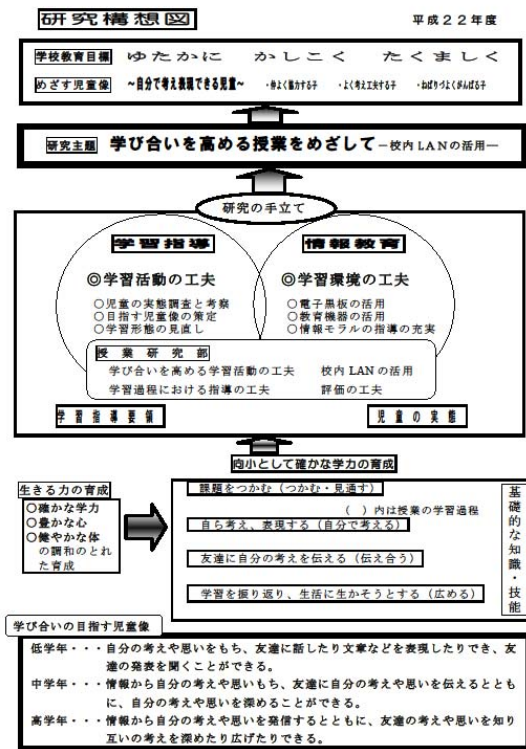
『 学び合いを高める授業をめざして ～校内LANの活用～ 』

### (1) 主題設定の理由

本校では、平成17.18年度から、学習形態（少人数指導等）と本校の特色ある学習環境（オープンスペース等）を生かし、算数科の研究を進めてきた。平成19.20年度は、算数科の授業研究の実践を進め、学び合いの能力の育成について成果をあげてきた。4年間の研究から、子どもたちに基礎・基本となる知識や技能を定着させ、自分の考えを分かりやすく表現し伝え合う力を伸ばしていくことが課題として見えてきた。

これらの成果や課題をふまえ、平成21.22年度の研究主題を「学び合いを高める授業をめざして」副題を「校内LANの活用」と設定した。

### (2) 研究構想図



## 2 研究内容

### (1) 学習指導研究部

#### **研究の視点1 学び合いを高める学習活動の工夫**

各教科の授業場面と児童の実態を照らし合わせ、「学び合い」を高めるという意図をもち、支援を工夫して実践授業を行った。

#### **研究の視点2 学び合いを高める学習環境の工夫**

「学び合い」を高めるために、話し合いの活動で児童が自由に発言できるような言葉を教室に掲示した。

### (2) 情報教育部

授業での教員によるICTの活用、児童生徒によるICTの活用方法について、それぞれの特性を生かせるよう研究を行った。

○学び合いを高める教科指導におけるICT活用例

○学び合いを高める教科指導におけるコンピュータ教室の活用例

## 3 研究発表会

2年生活科「むかいのまちすてきだね」



3年算数科「あまりのあるわり算」



5年道徳「ケータイのルールを家族で話し合い1」



6年算数科「直方体や立方体の体積」



## 4 成果と課題

### (1) 研究の成果

- ・小グループの学習形態やワークシートの使用、補助簿の活用により児童から多くの意見を引き出すことにつながった。
- ・学び合いの中で、児童が相互評価できるようにした。
- ・電子黒板等を、短時間で準備できるようになった。
- ・教育機器を学習過程の中に位置付けたことで、全体に投げかけたり、児童に注目させたりすることができた。
- ・児童が電子黒板を使用することで、発表をしやすくなった。

### (2) 今後の課題

- ・ねらいに迫るために、学び合いの時間や書く活動を重視する時間を、単元や1時間の学習過程の中で、どこで扱うかを明確にして授業を構成する。
- ・どの場面でICTを活用できるのか機器の活用方法を探る必要がある。
- ・資料（画像、映像等）を保存、引き継ぎをしていくことが大切である。